

#### 4 質の高い授業の展開例

各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方である「見方・考え方」を、習得・活用・探究という学びの過程の中で働かせて、より質の高い授業を展開しましょう。

気付く

##### ○ 学習問題（めあて）の設定

- ・ 本時で身に付けられるようにしたい資質・能力は何か。
- ・ どのような資質・能力を育てるのか明らかにする。

※ 児童生徒が「分きたい」、「解決したい」という学習問題（めあて）

※ 児童生徒が、本時で何をどのように学ぶのかが分かる学習問題（めあて）

どうしてそうなるのかな。  
何かきまりがあるのかも。

〇〇となることは分かるけど、  
□□になるのはなぜだろう。



疑問をもったときに、これまでどのように  
考えてきたでしょう。



見通す

- ・ 問題解決の方法について既習事項等を想起しながら見通しをもてるようにする。



図や表を使って考えたら分かりや  
すかったことがあります。

##### ○ 学習問題（めあて）を解決するための思考活動

- ・ 自力解決で導いた考え方を、ペアやグループで視点を明確にした交流をすることで、考えを広げたり深めたりする。

表から〇〇ということが分かる  
ね。なぜなら△△だからだよ。

図や表にまとめて、気付  
いたことがありますか。



ここまでで分かったことを、友達  
と説明し合ひましょう。



図で考えても〇〇ということが分  
かるのは、同じだね。

他のグループの発表と比べて、自  
分の考えを整理してみましょう。

##### ○ 学習の振り返りと学習の成果の確認

- ・ 本時の学習で何が身に付いたかを実感し、生活や次の学習に生かしていくことができるようにする。



〇〇さんの説明を聞いて、な  
ぜこのようになるのか分かっ  
たよ。

なるほど、このきまりを使え  
ば他の問題も解決できそうだ  
よね。



- ・ 問題解決に向けた自分の取組を振り返る。

きまりを見付けるまでにどのように調べたり、どのよう  
に考えたりすることがよかったのですか。



まとめる・振り返る

##### 【協議の視点】

- 児童生徒の興味・関心を喚起し、持続するためにはどのような授業の流れが有効だろうか。
- どのような発問が児童生徒の学びを深めるのだろうか。

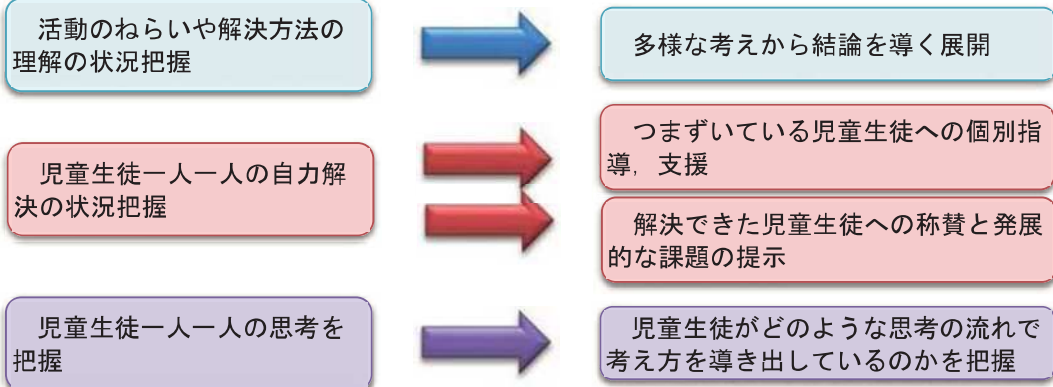
本校が想定する質の高い授業とは

-----

-----

## [意図的な机間指導]

明確な目的をもって児童生徒の状況を把握し、指導に生かす机間指導をしましょう。



机間指導のポイントは

-----

-----

## [思考の流れに沿った板書]

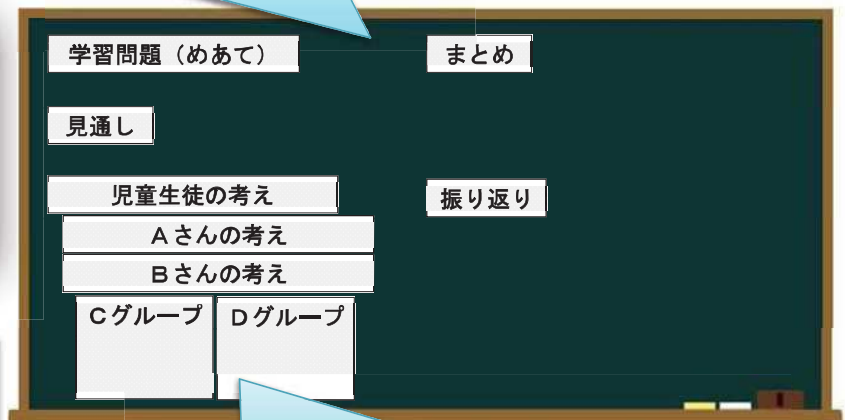
授業後に、何を学んだのかが一目瞭然となる構造的な板書になるよう工夫しましょう。

「学習問題（めあて）」がどのような学習を通して「まとめ」につながったか、問題解決に至る道筋が見える工夫



ICT機器（実物投影機、電子黒板等）を活用した工夫

- デジタル教科書を用いて教師の説明を視覚的に補充
- 児童生徒がノートをスクリーンに投影しながら説明することで、考え方を全員で共有



グループで話し合ったことを基に作成した小黒板等

児童生徒の思考を促す板書にするためには

-----

-----

-----



児童生徒の座席から板書を見ると、新たなことに気付くことがあります。  
自分の板書を写真に撮って振り返ることも、大切です。

## [思考の流れが分かるノート指導]

児童生徒が学習の過程を振り返り、学びの跡を残すために、ノートの書き方を工夫することができるようにしましょう。

板書を基に、自分なりに大切な内容や語句について、記録の仕方を変える。(色文字, 線囲み, ※印など)

〇月〇日 (〇)  
単元名「〇〇〇〇」

[学習問題 (めあて)]

[予想]  
[自分の考え①]

「疑問」や「自分の考えと他者の考えとの比較」などを書く。

[友達の考え]  
[グループの考え]  
[自分の考え②]

[結果]

[まとめ]

[練習問題・発展問題]

[振り返り]

考えを練り上げたり、深めたりした過程を書き、思考の流れが分かるように記録する。

何が分かり、できるようになったのかを、自分の言葉で書く。  
また、家庭で取り組みたい内容も書くことで、授業と家庭学習が連動できる。

24ページ

ノートから児童生徒の思考の過程を見取るとともに、学習の達成度を確認することが大切です。児童生徒が自分の考えを広げ、深められるようにする工夫が求められます。

- 年度始めにノートに関する指導を学校全体で共通理解し、書く内容や書き方のきまり等を確認
- 工夫されているノートを全体で紹介(教室設営での活用, 学級通信等への掲載)
- ワークシートを効果的に活用し、ノートに貼付
- 児童生徒の考え方に意味付け・価値付けをするとともに、思考の広がり、深まりを促す朱書き
- ノートに書かれている内容を補助簿等に転記し、授業で活用

児童生徒が自分のノートを使って思考を深められるようにするためには

-----

-----

-----

-----

-----

児童生徒のノートから授業を振り返ることができます。児童生徒がどのようなノートを書いているのか、教員間で相互に確認することも、有効な研修となります。



児童生徒は自分のノートで学びを振り返ることができます。